9/17 赤旗

戦争法強行から1年

市民・政党が毎月アクション

八王子アクションの宣伝に向かう左から土岐さん、藤谷さん、憲の弘子さん＝東京都八王子市

東京・八王子

戦争法の成立強行から1年。東京都八王子市では17日に「NO WAR 八王子アクション」が行われます。「憲法9条を守ろう！」「自衛隊の海外派兵反対！」―。市民、団体、市議らの共同が広がっています。（遠藤寿人）

きょう行動

安倍政権の戦争する国づくりをやめさせましょう―。宣伝カーのスピーカーから歯切れの良い男性の声が流れます。1週間前からアクションへの参加を呼び掛けています。「今日はウグイス（女性の声）でなくてカラスでごめんね」とは土岐新さん（70）。アクションを主催する「戦争をさせない八王子市民集会実行委員会」（実行委）のメンバー。「『車の宣伝を聞いてアクションに参加した』という人もいるんだよ」とは藤谷浩さん（74）。実行委に参加する「9条の会・八王子市内連絡会」（9条の会連絡会）の世話人です。

昨年から14回目

アクションは昨年8月からほぼ毎月行われ14回目。若者、市民、団体、学者・文化人、法律家、各党会派の代表がリレートークしパレードします。戦争法強行採決前では第2回（昨年8月30日）が1200人、第3回（同9月）が1000人とかつてない盛り上がりをつくりました。8月30日の全国一斉行動や、強行採決の9月19日には「八王子から日本を変えよう」とのぼり、横断幕を持って国会前へ押しかけました。

アクションには、思想や立場の違いを超えた市民や団体、自民党・公明党以外、全ての党・会派の八王子市議が賛同し参加。実行委員は常時10～20人ほどで、実行委員会と作業部会を月1回開いています。

実行委結成のきっかけは昨年6月、八王子市議会での自公による戦争法促進決議に反対する市民運動と、反対した議員が一緒に緊急学習会を開催。そこに参加した若者の「怒りが沸いてきた。学習会だけじゃいけない。市民の大きな運動に広げていこう。『会』をつくろう」の声にも応えて、3月から取り組んできた超党派の市民パレードの運動をさらに飛躍させようと7月、結成されました。

市内には「9条の会」が18あります。「自民党の改憲草案が出てきたころ、バラバラじゃいけない」と2013年2月、9条の会連絡会を立ち上げました。藤谷さんは活動が集会や学習会だけになる傾向があり、「学習会だけでは問題が解決しない。運動にしようと、街頭に出るよう呼び掛けてきた。これで全体が動き出した」といいます。

幅広い人と共同

同市と周辺部には23の大学や専門学校があります。9条の会連絡会は大学生・高校生を対象にバス停や正門前で訴え。また実行委は「未来を選ぶのは、わたし」と題したイラスト入りの手作りパンフを12万枚配布してきました。

9条の会連絡会では2013年、14年にも「集団的自衛権」の手作りチラシを10万枚ずつ配布。ピアノ教師の女性は教え子のお母さんが積極的にチラシ配りに協力。また一人で自動車に自転車をのせ、空白地域に配布しに行くなど力をいれてきました。

この1年を振り返り土岐さんは「幅広い人たちとの共同を粘り強く毎月続けてきた。戦争する国づくりを押しとどめるには共同がなくてはならない。共同の中でお互いの信頼関係が深まり、大きな財産だ」といいます。藤谷さんは「一緒にやってきた経験が自信になる。あきらめないで運動をますます続けなければならない」と話します。

粘り強く、相互信頼深め